

洋書輸入協会会報

VOL. 25
NO. 9

(通巻292号) 1991年 9 月

理事会報告

7月10日(水)

(一) 6月分収支計算・予算対比表

7月9日(火)総務委員会での検討にもとづく神田俊二氏
(丸善)の報告を承認した。

(二) その他

7月26日(金)

(一) 協会顧問田辺寛氏の辞任に当り記念品を贈呈したことが報告された。

(二) 海外大手出版社との取引条件改善の件につき、経営研究委員会雑誌部会できりまとめた意見を基に申し入れたことが報告され、今後引き続き交渉していくことにした。

(三) 協会ロゴのデザイン募集には、10社15名、計24点の作品応募があり、7月19日(金)の渉外・広報合同委員会での選考および7月26日(金)の理事会における厳正審査の結果、入賞者は次の通り決定した。(敬称略)

第1位 矢上めぐみ 丸善(株) 広報宣伝部

第2位 天野 信子 同 上

第3位 水谷 薫 OECD 東京広報センター

(四) 50周年記念式典招待者名簿の確認および感謝状文案と記念品につき検討し、決定した。記念講演の講師を加藤一郎先生に引受けていただいたことが報告された。

海外ニュース

チャールズ・E・タトル社が
アトランティック・マンスリー・プレスを買収

チャールズ・タトルが Atlantic Monthly Press (AMP) を買収する同意書に署名した。買収は夏までに完了する見込みで、買収金額は明らかにされていない。タトルが500点以上の強力なバックリストを持っているのに対し、AMP はフロントリストに強いことからアクロイド社長(タトル社長)は両社は最適の組み合わせであると言っている。AMP の売上は約450万ドルで現在 "If You Can't Live Without Me, Why Aren't You Dead." と "P. J. O' Rourke's Parliament of Whores" の2点のベストセラーを持っている。他方、タトルの米国での売上は300~400万ドル、東京をベースにしたタトル商会の売上は約4000万ドルとなっている。

(B.P. レポート 7月1日号から抜粋)

—(株)紀伊國屋書店提供—

理事会報告	1	東京の坂と橋と文明開化(17)	4	総代理店ご案内	5
海外ニュース	1	文化厚生委員会だより		広告	6
洋書輸入協会史(64)	2	第24回箱根囲碁会	5		

洋書輸入協会史 (64)

洋書輸入協会顧問 相良廣明

70 運賃込み正味問題 (続き)

昭和34 (1959) 年7月頃から始まった和書業界の運賃込み正味問題は、次第に洋書の業界へも波及してきた。

70.3 運賃込み正味問題の経過と結末

8月10日の拡大理事会以降も、東・日販より別個に、例えば1分を負担して貰いたいなどの申し入れが協会員の個々になされていたが、10月中旬になると、協会側も次第に各社の態度が明らかになり始めた。そしてその最大公約数は、買い切り部分は運賃を負担しない、委託分については若干の負担も止むを得まい、その負担のやり方は各社に一任する、というような所であった。

この間の経過を通じ、どうも東・日販などの取次側の歩調が必ずしも合っていないように思われ、和書の出版社側の対応もケース・バイ・ケースが多いように見えた。また取次から洋書同業への申し入れもケース・バイ・ケースが多いようで、どうにもまとまりがないという印象があった。

そうこうしているうちに11月下旬になったが、いつの間にかこの問題が立ち消えになった形で結末がついている。というのも、我々の洋書という第三者の立場から言うに「いつの間にか立ち消えになった」ので、恐らく和書の当事者の間では大変な議論がなされ、エネルギーが費やされた場句のことに違いあるまい。結局洋書側としては、将来またこの問題が起っても、運賃負担は断わろうというのが、共通の認識として残った次第であった。

71 Authorized Reprint Edition と Asian Edition Club (AEC) の結成……海賊版 (盗版) 対策に関連して

71.1 海賊版 と Authorized Reprint Edition の関連

昭和30 (1955) 年暮から翌31 (1956) 年にかけて、第一次海賊版問題の中心であった文献社の在庫が、同社倒産と共に破棄されないうまに関西方面に流れ、関西支部の深刻な問題となった昭和31 (1956) 年以降から第二次海賊版問題が始まる。

第二次の期間中の中心対策は、あまりにも軽い当時の著作権法の罰金規定を改正することと、Authorized Re-

print Edition を発行することであった。その前者は昭和33 (1958) 年5月15日付で一部改正が公布されたことをもって終結し、後者は昭和31 (1956) 年11月から発行され始め、逐次盛んになっている。(洋書輸入協会史 (49)、Vol. 24 No.1, 1990 (平成2) 年1月号～(54)、Vol. 24, No.8, 1990 (平成2) 年8月号所載, 第57章 海賊版 (盗版) 問題 (第二次) 参照)

71.2 海賊版業者を告訴す

昭和33 (1958) 年5月15日付で、著作権法の罰則規定の改正が公布されると、さすがにひとときは海賊版騒ぎが鎮勢した。しかしながら、昭和34 (1959) に入ると、そろそろ蠡 (しゅん) 動が始まってくる。同年7月25日付 JBIA No. 82 には、次のような記事がある。

記

……前略……極秘裡ながら海賊版が再度抬頭して参りまして、Oxford 大学出版部駐在員より数物科学研究会が告訴されたことは、新聞紙上にて御承知の事と思いますが、この際当会員としてはかかる盗版は絶対に取り扱わぬよう、改めて注意を喚起致しました。……後略……

この記事は、7月23日の懇談会報告の中に掲載されており、Oxford 大学出版部駐在員とは、川脇達郎氏のことである。この川脇氏の迅速適確な対処により、日本の Representative がこの後に続くこととなり、親告罪である著作権法の適用に大きな前進をもたらした。またこの告訴は、著作権法の罰則改正により、告訴を行った場合実効があるという判断をもたらしたという画期的な意義を持つ。

71.3 海賊版跡を絶たず

それでも海賊版の刊行は跡を絶たず、そしてますます潜行し、かつ巧妙な宣伝を行うようになった。昭和34 (1959) 年9月には、東芳書苑というところのサーキュラーが見付かり、翌昭和35 (1960) 年の1月には、文京区のある所が嚆となり、別途入手したりストには医学書の海賊版40点が掲載されていた。また出版業者だけでなく、海賊版を販売している書籍店名も、情報として寄せ

られている。

71.4 米国側の関心と反応

昭和34(1959)年12月22日付で、American Book Publishers Council から、日本の Publishers Assn.宛に書状が寄せられ、そのコピーが洋書輸入協会宛廻附された。その書状は、日本の海賊版の現状についての調査依頼である。

この件に関してはその後も書状のやりとりがあり、いささかの行き違いも生じたが、協会としては昭和35年5月5日付、JBIA No.99で次のように会員に知らせ、この問題を締めくくっている。

記

盗版についての御知らせ

著作権法一部改正後は一時静止したかに見えた盗版が、またまたしゅん動し始めたことは各位の御承知の通りですが、当協会よりこれに関する事情及び盗版現品が米国に送られた為、American Book Publishers Council並びに American Technical & Medical Book Publishers Associationに同情報が提出され、再び問題を起こしつつある模様であります。

これに関して同 Council より3月4日付当協会宛に同防止に尽力方の申し入れがあり、同時に従来許可している Authorized Reprint が、これが停止にあまり効果を挙げない様なれば、将来考慮せざるを得ない旨申し添えて参りました。

理事会においてもこれを重要現し、取り敢えず理事会内に対策委員会を設置すると共に、同協会が盗版防止に努力している実情並びに Authorized Reprint がこれに多大の寄与をしている旨を強調回答致しました。

尚 A. T. M. B. P. Association は目下東京在住の弁護士 Mr.Arthur K. Mori を盗版摘発の為に依頼することとなっておりますので、契約後は同氏と協力していくことと致しました。

就いては前述の様に会員個々より情報が直接各 Publisher に提供される事は色々問題があり、時に誤解をも生ぜしめる虞れがありますので、今後は一切理事会を通して頂くことと致しましたので、よろしく御含みの上御協力をお願い致します。(以上)

上記「お知らせ」の中に出て来るように、米国側は入手した日本の盗版事情及び盗版現品を見て、議論が日本

で発行されている Authorized Peprint Edition の海賊版抑止効果の有無に及んでいる。そしてその効果が無いようであれば、将来 Authorized Reprint Edition を日本で発行させることを考え直さざるを得ないという結論に到達している。

どうしてこんなところに始まったばかりの Authorized Reprint Edition の話が持ち出されるのか理解に苦しみし、また好意から日本の海賊版現況と盗版現品を米国出版者に送ってやったある協会員も、事の成り行きの意外さに仰天したことであろう。この思考過程は日本人の思い及ばぬところで、この一事を以てしても近來の日米貿易摩擦などは、両者の考え方の違い、ひいては基盤とする文化の違いによることが大きいと実感出来る。

またこの「お知らせ」に出てくるアーサー・毛利弁護士は、その後海賊版の問題で何度も協会側と接触があり、浅からぬ関係を持つことになる人である。

71.5 Asian Edition Club の結成

マグロー・ヒル出版社において、好学社と図書印刷と提携して、アジア向けリプリント版を発行し始めたのは昭和31(1956)年11月のことである(JBIA 会報 Vol.23 No.9、1989年9月号所載、協会史(45)53.2項参照)。これが Authorized Reprint Edition の始まりで、海賊版に対して公認リプリント版と呼ばれた。これは第一次海賊版問題の最中に企画され、第二次海賊版問題の最中に刊行されたもので、海賊版対策としての意味が含まれる。

公認リプリント版の刊行はその後急速に拡大し、洋書輸入協会が発行した昭和34(1959)年8月現在の公認リプリント版のリストには、84点が掲載され、オリジナルの出版社は米国6社、英国3社、ドイツ1社に及び、日本側のリプリント版刊行社は6社となっている。

昭和34(1959)年10月には、洋書輸入協会員でリプリント版を発行しているところが集まり、輸出など共通の問題を討議したが、次第に機運が煮詰まって、昭和35(1960)年3月8日に創立総会を開き、Asian Edition Club を結成した。当初の会員は、海外出版貿易、好学社、タトル商会、日本出版貿易、紀伊國屋書店、丸善の6社であり、その後会員数も出版点数も増え、リプリント版の総合カタログまで刊行されるなど大きく発展し、海賊版対策の意味を遥かに超えて、日本並びにアジアの学術に貢献した。なお Asian Edition Club は、昭和63(1988)年4月8日に解散式を行っている。(続く)

東京の坂と橋と文明開化 (17)

お茶の水の橋とニコライ堂〔1〕 お茶の水界限

丸善・本の図書館 鈴木 陽二

お茶の水の駅をはさんで、二つの橋が神田川に架かっている。「お茶の水橋」は明治24年に架橋され、昭和7年に現在の橋に架け替えられた。今の橋は特に橋梁美を感じるデザインではないが、当時は「左右に三尺の高欄、前後に一尺角高さ七尺の雄柱を立てて瓦斯燈台を据え、総体に唐草模様を飾った」(石川佛二『東京の橋』)とあるようにそれなりに凝った設計だったのではないか。樋口一葉は「行々て橋のほとりに出ぬ。するが台の、いとひくくみゆるもおかし。月遠じろく水を照して行かう舟の火かげおかしく金波銀波こもごもよせてくだけでは、まどかなるかげ、いとおかし。」と開橋当日の見聞を記しており、「茗溪」と呼ばれたこの辺の流れと橋とが調和して、人々の訪れも多い清遊の名所であった。

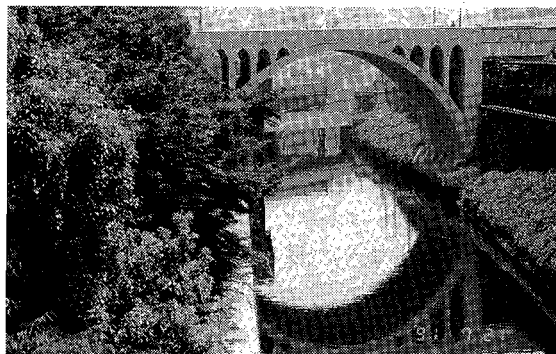
湯島聖堂の前を東へゆるやかに下る坂を相生坂という。この坂から眺める聖橋は美しい。神田川を高々と跨ぐ壮美ともいえるその容姿は、名の通り聖なる橋にふさわしい壮嚴な雰囲気をかもしだしている。この聖橋は震災復興橋梁の主要プロジェクトの一つとして昭和3年に竣工した。表現派風の構造デザインをもつこの橋は山田守の設計で、彼が手がけた戦前の東京中央電信局は表現主義の代表的建築として評価され、戦後では日本武道館や厚生年金病院、また京都タワーなどを設計し、建築の近代化を大胆に進めて問題児とまでいわれた異材であった。ところで、聖橋で忘れられないのは「ニコライ堂」である。聖橋とニコライ堂、時代も様式も異なるこの二つの建造物は巧みに融和して、ここお茶の水界限に魅惑的景観を作りだしている。ニコライ堂の出現は明治の東京市民に強い印象を与えたようで、多くの文人たちはそれを詩や歌に詠み、文に綴った。ニコライの鐘の音にひかれてその近くに住みつき、新詩社の歌会のつどいなどを自宅で催していた与謝野寛は「しろがねの振香炉より立つけぶり芝居に以たる nikolai の祭」と歌い、また与謝野晶子も「隣り住む南蛮寺の鐘の音に涙のおつる春の夕暮」と寂寞に満ちたニコライの夕景を歌い上げている。

いま私は一枚の絵を目の前にしている。『新撰東京名所図会』の「お茶の水・駿河台」の一葉で、明治32年に山本松谷によって描かれたものである。まだお茶の水の駅

はないが、その近くほぼ現在の場所とおぼしき所に「井上眼科病院」があり、その向うには「杏雲堂病院」も見られる。そしてその病院の隣に「正教神学校」と表示されている建物こそニコライが上京して開いたロシア語の私塾であった。ニコライ堂は既に建設された年代であるがこの絵からはみだしているものなのか、その姿はない。

さて、1811年にロシアの海軍士官ゴローヴニン(ゴロウニン)(V. M. Golovnin)は千島南部の測量に赴いて松前藩に捕えられ、2年3ヵ月のあいだ虜囚の身を日本で送る。そして、高田屋嘉兵衛との交換で釈放され、帰国してその体験を『日本幽囚記』に綴ずる。この本によって日本に関心をそそられた修道士ニコライ(P. R. Nikolai)は1860年(万延元年)に待望の日本派遣が決まり、翌年領事館付司祭として函館に赴任する。そして明治5年ロシア公使館の東京移転にともなって上京し、駿河台に私塾を開くと共にそこを根城に布教を開始する。そして、明治24年に東洋一の大聖堂ニコライ堂が完成し、本格的な教勢の浸透に取り組むことになる。このニコライ堂にちなんで、今回は幕末明治における日露の接触とロシア文化の浸透について少し辿ってみることにしたい。

日暮れ頃のニコライ堂を題材にした文学作品が多い。ニコライ堂を配した駿河台の落日の景観は、詩心をたまらなくかき立てるものであったに違いない。木下杢太郎に「SAFFRAN」という詩篇がある。「ニコライ堂の鐘が鳴る。/金曜日、/秋の落日のいたいたしさ。」と、何か滅入ってしまうような情景をうたっているが、駿河台には今でもこんな気持ちを誘う夕暮れがあるのだろうか。



最近色直しをした「聖橋」

文化厚生委員会だより

第24回箱根囲碁会

7月13日、13時40分の小田急新宿ロマンスカーにて出発。同好会会長の石内会長（東光堂書店）や文化厚生委員長の渡辺会長（洋販）の元気なお顔も見える。

指導の石毛、時本両先生と2、3人の直行組を含めて参加者18名とは、例年に比べややすくない。

しかし、それだけ両先生に対局指導を頂けるチャンスも多くなるというメリットも有るわけだ。

夏の囲碁会の楽しみのひとつは、往復の車中での弁当を広げ、アルコールを傾け乍らの歓談である。何年か前までは車中にまで磁石付の携帯碁盤を持ち込んで、鳥鷲を戦かわす光景も見られたが、このごろはさすがにその元気は失せたようだ。

本当に、あつと言う間に終点箱根湯本着。会場の「ますとみ旅館」自慢の箱根四元湯の一つと言う「ままね湯」に浸って一息入れた後、対局に入る。

各人4局ずつの対戦で、同星の場合は自分より強い相手を負かせた内容によって順位を決めるというルールによって下記のような結果となった。

- 優勝 田所（マクラミン）
2位 村山（ゲーテ書房）
3位 荒木（医学書院）
4位 前橋（中央洋書）

今回は、いつも幹事役を引き受けて下さっていた二人の方の残念な退会もあって、洋販の武田さんにすべてのお世話を頂いた。

(A. A)

総代理店ご案内

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

Tel. (03) 3291-4541 Fax. (03) 3293-3484

代理店業務停止のお知らせ

British Publishers

The Bodley Head Ltd.
Jonathan Cape Ltd.
Chatto & Windus Ltd.
The Hogarth Press Ltd.
Liverpool University Press
Colin Smythe Ltd.
Tate Gallery Publications
Virago Press Ltd.

American Publishers

Cooper Square Publishers, Inc.
Gardner Press, Inc.
Neal-Schuman Publishers, Inc.

European Publisher

Editions Rodopi B. V.

Canadian Publishers

The University of Alberta Press
The University of Calgary Press
Canadian Plains Research Center
Carleton University Press
The Fraser Institute
Garamond Press
University of Ottawa Press
Wilfrid Laurier University Press

第23回 洋 書 ま つ り '91

洋書輸入協会主催合同セール

と き 1991年10月18日(金)・19日(土) 10:00~18:00

ところ 東京古書会館 千代田区神田小川町3-22 電話 03-293-0161
当日直通 03-295-2828

(国電・お茶の水駅、都営地下鉄新宿線・神保町駅または小川町下車)

NEW!!

J.B.LIPPINCOTT MEDICAL BOOKS

The Classic of Fracture is completely revised and expanded by acclaimed authorities in its 3rd edition!

ROCKWOOD et al FRACTURES

Third Edition in 3 Volumes

Edited by

Charles A. Rockwood, Jr., MD.

David P. Green, MD.

Robert W. Bucholz, MD.

Kaye E. Wilkins, MD.

Richard E. King, MD.

With 64 contributors

● FRACTURES in 3 vols. ¥90,000 1991

● Vol. I & II. FRACTURES IN ADULTS
¥65,000

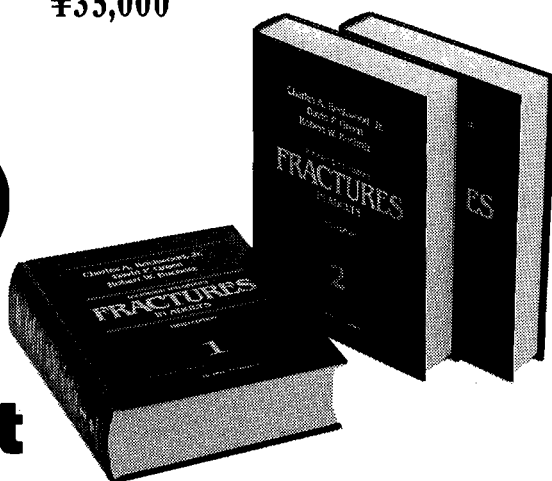
● Vol. III. FRACTURES IN CHILDREN
¥35,000

**ORDER
YOUR COPIES
TODAY!**



Lippincott

A Wolters Kluwer Company



Exclusive Distributor in Japan

IGAKU-SHOIN Ltd., Foreign Publications Dept.

HOMEI BLDG. 1-28-26 HONGO, BUNKYO, TOKYO 〒113 ☎(3817)5670~1

1991年9月

通巻第292号

洋書輸入協会

編集者

柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室

☎ 3271-6901 FAX. 3271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル

☎ 371-5329